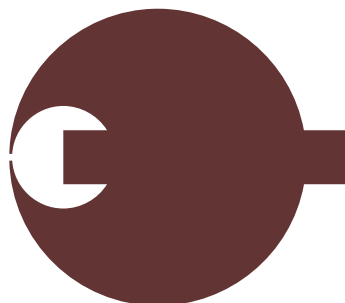
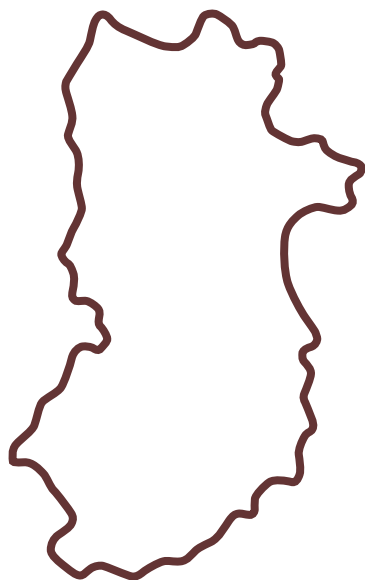


# 奈良県の地勢

## 第1部

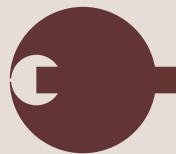
1

- 6 奈良県のシンボル
- 7 行政区画図
- 8 地形・位置
- 9 面積・気象





## 奈良県のシンボル



### 県章(昭和43年3月制定)

奈良県の「ナ」を図案化したもので、外の円は大和の自然を、内の円は協和の精神をあらわしています。横一文字の軸は、力強い統一とたゆみなき進展をあらわしています。

県の木

#### スギ

(昭和41年9月指定)



毎日新聞社の提唱により、アセビ、ウメ、サクラ、スギ、モミジの5候補を選考委員会で決め、県民のハガキ投票により、最高票のスギを県の木に指定しました。

県の花

#### 奈良八重桜

(昭和43年3月告示)



県の花選定委員会で、奈良八重桜、山桜、牡丹、梅、馬酔木、藤の6候補のなかから、選ばれました。

県の鳥

#### コマドリ

(昭和41年6月制定)



コマドリ、アオゲラ、ミソサザイ、オオルリ、カワセミの5候補を選考委員会で決め、県民のハガキ投票により、最高票のコマドリを県の鳥に指定しました。

県のさかな

#### きんぎょ・あゆ・あまご

(平成24年6月制定)

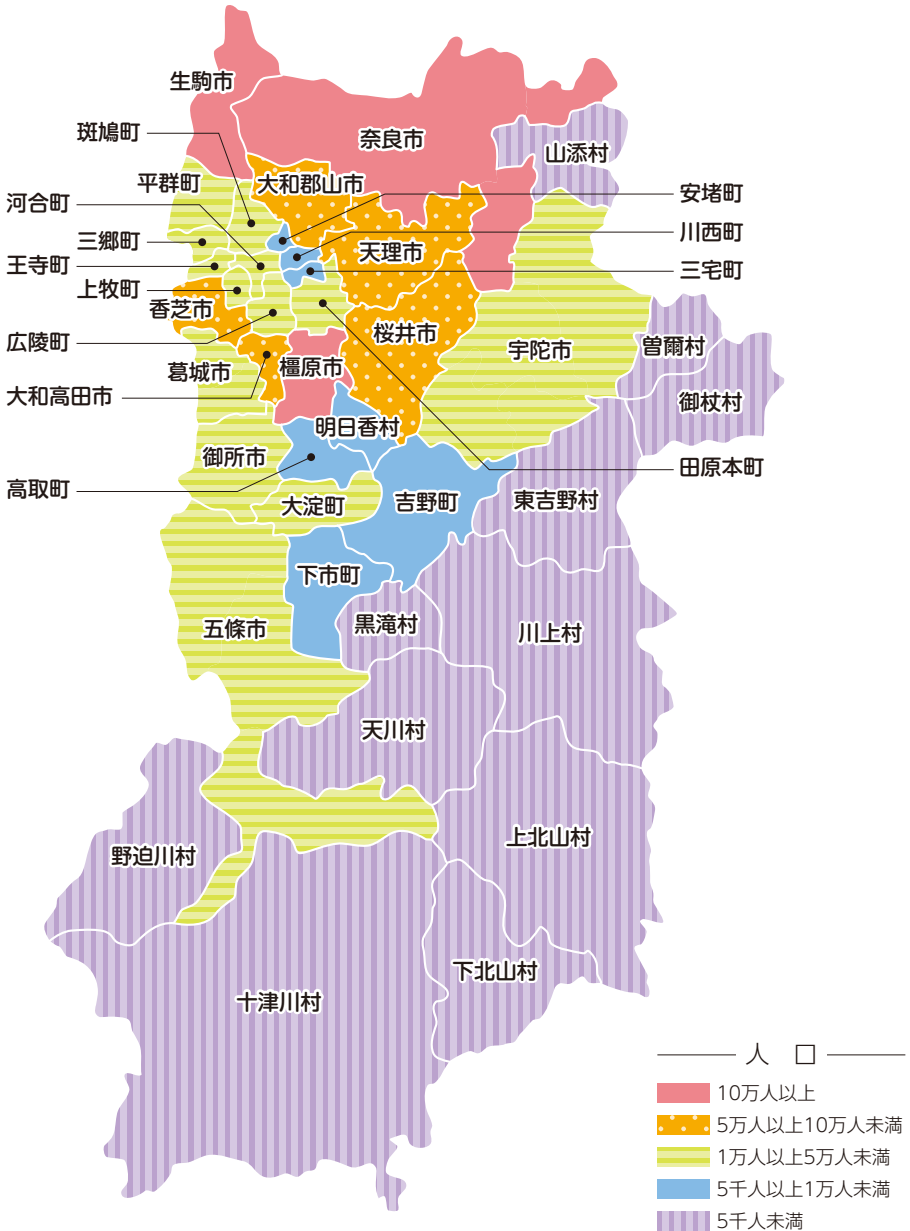


県のさかな選定委員会で実施した県民アンケートの結果により、上位3種のきんぎょ・あゆ・あまごを県のさかなに指定しました。

※(右)きんぎょ、(上)あゆ、(下)あまご



行政区画図



資料:県統計分析課「市町村別推計人口(平成30年10月1日現在)」



## 地形

本県の地形は、吉野川に沿ってほぼ東西に走る中央構造線により、南部山地(吉野山地)と中央低地(北部低地)に分かれています。

北部低地帯は、瀬戸内陥落地帯の東部にあたり、断層により陥落した地溝盆地である奈良盆地を中心に、これをとりまいて生駒・葛城・笠置の各山脈、竜門山塊、奈良丘陵の山地からなっています。奈良盆地は南北30km、東西16km、面積約300km<sup>2</sup>で、海拔40~60mの非常に平坦な沖積層からなっています。河川は盆地の東南隅より流出する初瀬川を主流とし、四周の河川を合して大和川となり、生駒金剛山脈を横断して大阪平野へ流出しています。

奈良盆地東側に隣接している大和高原地区は海拔400~500mの高原です。また、宇陀山地は竜門山塊の東に位置し、海拔300~400mの宇陀盆地と高見山麓、室生火山群地帯とからなっています。

南部山岳地帯は、本県の南部一帯を占める山岳地帯で、東は台高山脈を隔て三重県に、南西は和歌山県に、北辺は竜門山塊によって大和平野、大和高原地区に接しています。

中央部は大峰山系によって西の十津川流域と東の北山川流域とに分けられ、大台ヶ原、伯母ヶ峰、山上ヶ岳、大天井岳、武士ヶ峰、天辻峠を連ねる横断山脈によって、北側の吉野川流域と分水嶺をなしています。大台ヶ原や大峰山脈は山岳美、溪谷美に富み、吉野熊野国立公園に指定されています。

## 位置

本県は、近畿の屋根といわれる山岳地帯を南部に持ち、わが国のほぼ中央部、紀伊半島の真ん中に位置し、周辺を山岳に囲まれた内陸県です。

	経緯	地名
①東端	東経136度13分48秒	宇陀郡御杖村 大字神末
②西端	東経135度32分23秒	吉野郡野迫川村 大字弓手原
③南端	北緯33度51分32秒	吉野郡十津川村 大字竹筒
④北端	北緯34度46分53秒	生駒市高山町





面積

資料:国土交通省国土地理院[全国都道府県市区町村別面積調]

本県の面積は、全国面積(377,974.17km<sup>2</sup>)の約1%の3,690.94km<sup>2</sup>です。  
市町村で一番広いのは、672.38km<sup>2</sup>の吉野郡十津川村で県面積の18.2%を占めています。最小は、磯城郡三宅町で4.06km<sup>2</sup>です。

市部 ➡ 1,272.23km<sup>2</sup> (34.5%)

郡部 ➡ 2,418.70km<sup>2</sup> (65.5%)  
(平成30年10月1日)



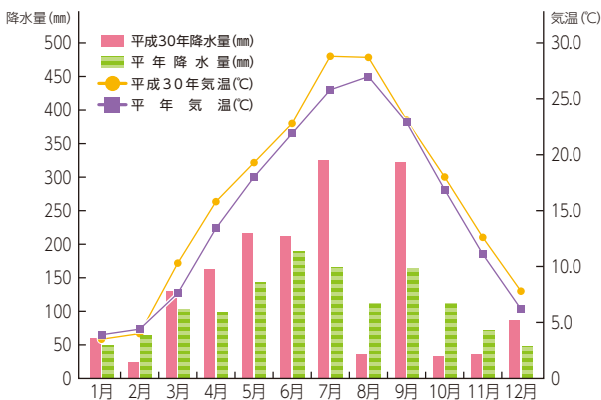
気象

本県の気候は概ね温暖ですが、地形と同様南北で大きく相違します。気候区分によると吉野川を境として、南部は山岳で占められ山岳性気候、北部は盆地で内陸性気候です。東部山地は内陸性気候と山岳性気候の特徴を兼ねています。即ち、南部の山地は夏に雨が極めて多く、時には局地豪雨が起り、冬はきびしい冬山の様相を呈し、積雪もかなり深くなります。一方、奈良盆地は概ね雨は少なく、夏はむし暑く、冬は底冷えが厳しくなります。

[北部] 内陸性気候

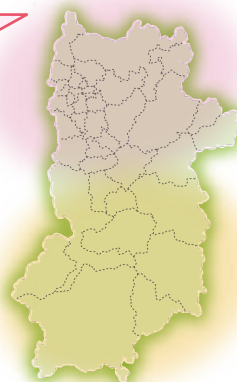
・概ね雨は少なめ・夏/むし暑い・冬/底冷えが厳しい

奈良市の月別平均気温と月間降水量(平成30年値と平年値)



(注)平年値とは1981年から2010年の平均

資料:奈良地方気象台



[南部] 山岳性気候

・夏/雨が極めて多く、時には局地豪雨が起る  
・冬/きびしい冬山の様相を呈し、積雪も深い